

保護者の皆様

平成28年度 第2回学校評価について

南足柄市立向田小学校
校長 白川 裕子

春暖の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、12月9日付け文書にてお願いいたしましたアンケート調査ですが、多くの皆様にご回答をいただき誠に有り難うございました。15の項目すべてについて、児童、保護者、職員がそれぞれの立場から評価した結果を次のようにまとめました。7月に実施した第1回学校評価との比較検討もされていますので、目を通していただけたらと思います。

なお、この結果につきましては、学校運営連携協議会で検討された結果をふまえて、来年度の教育活動に生かし、一層の充実に向けて職員一丸となって取り組ましますので、引き続きご協力をお願いいたします。

★表の見方

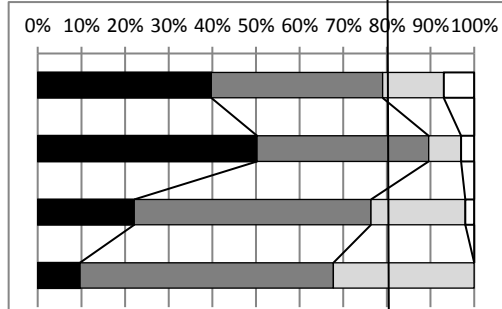
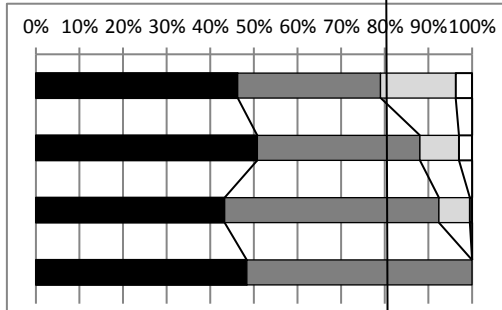
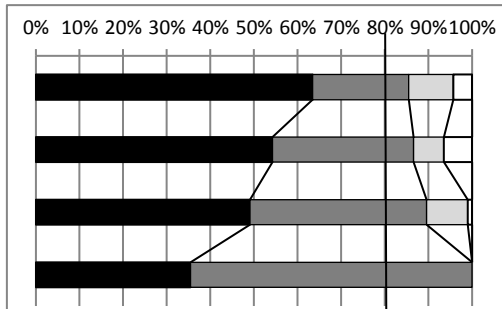
1～3年	136	66%	60	29%	6	3%	3	1%
	96%		+4%		4%		-4%	

★小数点以下を表示してないので、合計が100になっていない場合があります。

肯定率(A+B%) 第1回との比較

1. 全般 ※(アンケートの言葉は、保護者のものを入れてあります)

設問①	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない				
子どもは、学校へ行くことを楽しみにしている。	1～3年	118	63%	41	22%	19	10%	8	4%
		85%		+2%		15%		-2%	
	4～6年	109	54%	65	32%	14	7%	13	6%
		87%		-0%		13%		+0%	
	保護者	193	49%	159	40%	37	9%	4	1%
		90%		-0%		10%		+0%	
	教師	11	35%	20	65%	0	0%	0	0%
		100%		0%		0%		0%	
設問②	1～3年	86	46%	61	33%	32	17%	7	4%
		79%		+2%		21%		-2%	
	4～6年	102	51%	75	37%	18	9%	6	3%
		88%		+4%		12%		-4%	
	保護者	170	43%	193	49%	28	7%	2	1%
		92%		+1%		8%		-1%	
	教師	15	48%	16	52%	0	0%	0	0%
		100%		0%		0%		0%	
設問③	1～3年	74	40%	73	39%	26	14%	13	7%
		79%		-2%		21%		+2%	
	4～6年	101	50%	79	39%	15	7%	6	3%
		90%		-1%		10%		+1%	
	保護者	87	22%	213	54%	85	22%	8	2%
		76%		-6%		24%		+6%	
	教師	3	10%	18	58%	10	32%	0	0%
		68%		-14%		32%		+14%	



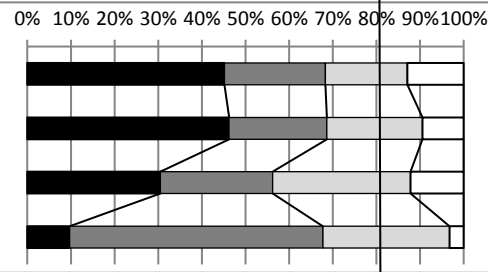
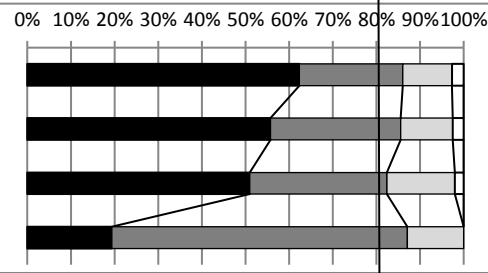
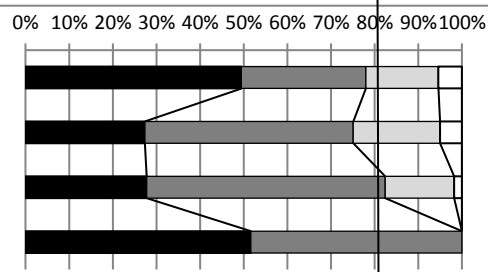
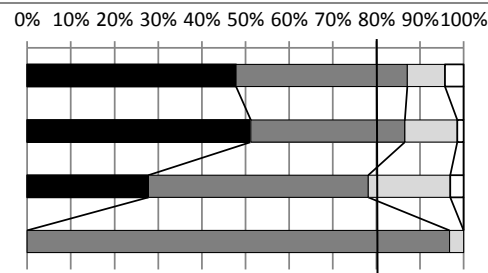
①前回は引き続き、児童・保護者・教師ともに、ほとんどの子どもたちが学校に来ることを楽しみにしていると答えています。子どもにとって学校の何が楽しみなのか？ということ「友だちがいること・教室に居場所があること・学習内容がわかること」と考えます。1割前後の児童が楽しくないと答えているという実態については、友達関係や学習のことで困り感を抱えている子がいると頭に入れ、家庭と連絡を密に取り合って対応していきます。

②教師の肯定率は100%ですが、児童の感じ方との間に意識のずれがあるようです。教師は児童のがんばりを認め、褒めるように日頃から心がけていますが、児童は褒められているという実感をもてない場合があるようです。単に褒めるだけでなく、クラスのみんなの中で褒めたり、本気で感心したことやその子なりに以前と比べてよくなった点を褒めたりするなど、褒め方を工夫していきます。

③あいさつに関しては、児童・保護者・職員とも課題であると捉えています。子ども自身は、あいさつしているつもりでも、数年前よりできなくなっていると教師側は感じています。返事ができない児童は、あいさつもできないことが多いので、返事をする、あいさつをするを学校で繰り返し、指導をしていく必要があります。他を尊重する、認める気持ちが積極的なあいさつにもつながっていくと考えます。学校では、高学年が手本を示し、あいさつの良さを広げていきたいと取り組んでいます。「あいさつをしてくれた人に対して、あいさつを返す」というところを最低限の基本とし、「〇〇さん、おはよう！」と名前を付け加えたり、「すれ違いあいさつ」を励行したりしています。あいさつは、学校や家庭で大人が進んで手本を見せることが大切です。

2. 学力向上

設問④	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
子どもは、学校での勉強が分かると思っている。	1～3年	89 48%	73 39%	16 9%	8 4%
		87%	+1%	13%	-1%
	4～6年	103 51%	71 35%	24 12%	3 1%
		87%	-5%	13%	+5%
	保護者	109 28%	198 50%	74 19%	12 3%
	78%	-2%	22%	+2%	
教師	0 0%	30 97%	1 3%	0 0%	
	97%	-3%	3%	+3%	
設問⑤	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
	1～3年	92 49%	53 28%	31 17%	10 5%
		78%	-2%	22%	+2%
	4～6年	55 27%	96 48%	40 20%	10 5%
		75%	+1%	25%	-1%
保護者	109 28%	215 55%	62 16%	7 2%	
	82%	-5%	18%	+5%	
教師	16 52%	15 48%	0 0%	0 0%	
	100%	0%	0%	0%	
設問⑥	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
	1～3年	116 62%	44 24%	21 11%	5 3%
		86%	-3%	14%	+3%
	4～6年	112 56%	60 30%	24 12%	5 2%
		86%	-4%	14%	+4%
保護者	200 51%	123 31%	61 16%	8 2%	
	82%	-6%	18%	+6%	
教師	6 19%	21 68%	4 13%	0 0%	
	87%	-4%	13%	+4%	
設問⑦	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
	1～3年	84 45%	43 23%	35 19%	24 13%
		68%	-5%	32%	+5%
	4～6年	93 46%	45 22%	44 22%	19 9%
		69%	-8%	31%	+8%
保護者	120 31%	101 26%	124 32%	48 12%	
	56%	+1%	44%	-1%	
教師	3 10%	18 58%	9 29%	1 3%	
	68%	-10%	32%	+10%	



④教師の肯定率は100パーセントに近いのですが、児童の約1～2割は勉強がわからないと感じています。個別指導と一斉授業をうまく機能させて、どの子も分かる・できる授業の展開に努めます。学習につまずいている児童への支援として、ステップアップ学習の充実・インクルーシブ担当教員等の有機的な活用で授業改善を図っています。また、テストだけではなく、子どものノートや発言からも学習理解度を把握していきます。

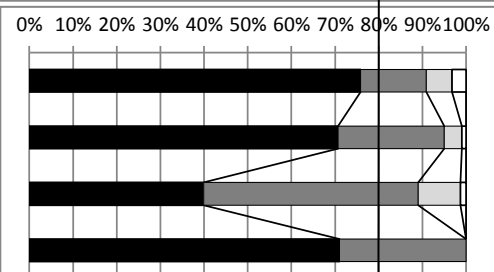
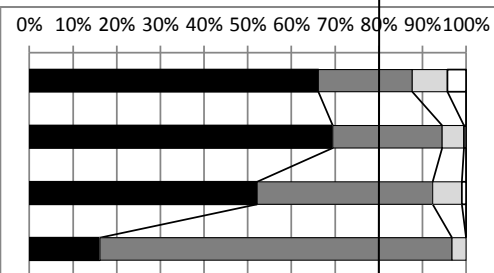
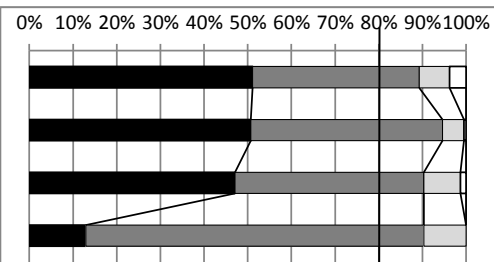
⑤学年が上がることに、学習が難しくなりますが、上学年と下学年では、ほぼ肯定率が同数値です。引き続き、具体物を提示したり、視覚支援をしたりする他、「なんでだろう?」「調べてみたい!」という児童の知的好奇心をくすぐるような授業展開を心がけます。また、子ども同士の教え合いも大切にし、「学習の楽しさ」を児童に味わわせるようにしていきます。

⑥宿題に主体的に取り組めない子については、家庭とも連携しながら指導を工夫していきたいです。また、発達段階に応じた自学習の積み重ねが、学習習慣の定着につながると考えます。中学年から段階的に取り組んでいき、高学年でさらにレベルを上げたいと考えています。

⑦全体的に肯定率が低いです。読書をする“場”を設定すれば、子どもは読書をしますが、“進んで”となると、子どもの取り組みとしては今ひとつです。本との出会わせ方や場の設定の工夫が大切です。2学期は、学校司書おすすめの本を読む「おためし読書タイム」を学級ごとに行いました。また、図書ボランティアさんのおかげでとても魅力的な場所となった図書室の活用、PTAのファミリーチャレンジ等、家庭生活を含めて日常的に読書活動へのはたらきかけを続けていきます。

3. 集団力育成

設問⑧	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
子どもは、学校のやくそくを守って生活している。	1～3年	95 51%	71 38%	13 7%	7 4%
		89%	+1%	11%	-1%
	4～6年	103 51%	89 44%	10 5%	1 0%
		95%	-0%	5%	+0%
	保護者	185 47%	170 43%	33 8%	5 1%
	90%	-3%	10%	+3%	
教師	4 13%	24 77%	3 10%	0 0%	
	90%	+3%	10%	-3%	
設問⑨	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
子どもは、友だちや他の学年の人となかよく楽しく生活している。	1～3年	123 66%	40 22%	15 8%	8 4%
		88%	+0%	12%	-0%
	4～6年	139 70%	50 25%	10 5%	1 1%
		95%	+1%	6%	-1%
	保護者	205 52%	158 40%	26 7%	4 1%
	92%	-2%	8%	+2%	
教師	5 16%	25 81%	1 3%	0 0%	
	97%	+7%	3%	-7%	
設問⑩	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
先生は、よいこと悪いことを教え、集団の規律が守られている。	1～3年	141 76%	28 15%	11 6%	6 3%
		91%	-2%	9%	+2%
	4～6年	142 71%	49 24%	8 4%	2 1%
		95%	+0%	5%	-0%
	保護者	157 40%	193 49%	38 10%	5 1%
	89%	-0%	11%	+0%	
教師	22 71%	9 29%	0 0%	0 0%	
	100%	+7%	0%	-7%	



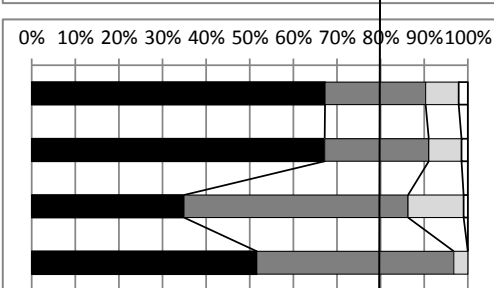
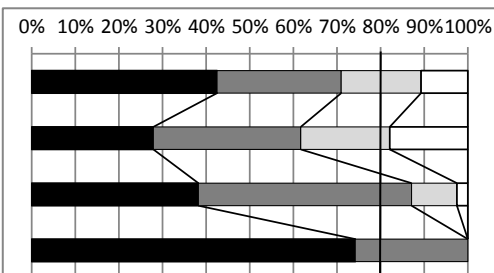
⑧肯定率が9割ととても高いのですが、約束を守っていないと自覚している児童もいます。「向田っ子の約束」は、内容がたくさんありますが、どれも大切な内容です。「心と体の教育部会」（児童指導に関する会議）で確認したことは、全職員で共通理解し、今後も足並みをそろえて指導をしていくようにしていきます。特に気になる点は、廊下の歩行・階段の一段抜かし・筆箱の中身です。

⑨肯定率がとても高く、友達と仲良くできている児童がとても多いのは、良いことです。しかし、友達関係において、困り感を抱いている児童も少なくないようです。誰もが課題を抱えている児童に対しても優しい気持ちで接することができるようになると良いと考えます。学校、または学級全体で思いやりの心やがんばる気持ちを育てていく必要があります。行事をうまく活かして、学級作りをしていくことも大切であると考えます。

⑩肯定率がとても高いですが、学級が落ち着いていると、保護者の肯定率も上がるようです。今後も、学級担任を中心に、規律ある集団生活が送れるように指導していきたいと思ひます。

4. 安心・安全

設問⑪	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
学校は、子どもや保護者の悩みや相談に対して、丁寧に対応してくれる。	1～3年	79 42%	53 28%	34 18%	20 11%
		71%	-4%	29%	+4%
	4～6年	56 28%	68 34%	41 20%	36 18%
		62%	-3%	38%	+3%
	保護者	150 38%	192 49%	41 10%	10 3%
	87%	-2%	13%	+2%	
教師	23 74%	8 26%	0 0%	0 0%	
	100%	0%	0%	0%	
設問⑫	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
子どもは、自分の安全や健康に対して関心をもっている。	1～3年	125 67%	43 23%	14 8%	4 2%
		90%	-5%	10%	+5%
	4～6年	135 67%	48 24%	15 7%	3 1%
		91%	-3%	9%	+3%
	保護者	137 35%	202 51%	50 13%	4 1%
	86%	-4%	14%	+4%	
教師	16 52%	14 45%	1 3%	0 0%	
	97%	-3%	3%	+3%	

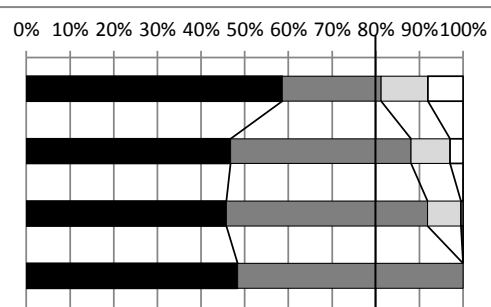


⑪保護者の皆様は、たいへん肯定的です。児童については、例えば1年生の場合、相手意識が芽生えてくるにつれ、グループづくり等で友達とのトラブルも多くなってきています。教師は、その都度解決するようにしています。相談できない子については、まわりが気づいたり、教師が気づいたりと解決に努めています。上学年児童の肯定率が、やや低めになっています。先生への相談の優先順序が低いのが現状のようです。児童の設問は、「困ったことやなやみがある時は、先生や相談員さんに相談しようと思う」になっているので、大人ではなく友達に相談している児童が多いことも考えられます。相談しやすい関係づくりや、小さな変化にも気づけるような児童理解の姿勢に努めていきます。

⑫どの質問対象も、ほぼ9割の肯定率です。健康委員会が呼びかけている「ハンカチ・ティッシュ調べ」でも、全校の所持率が上がってきています。低学年にとっては、保護者の方々の協力も大切になってくる内容で、親子の意識が高いと言えます。長縄跳びや時間走等の行事に合わせてキラキラタイムを設定し、体力向上や外遊びの励行でも成果を上げています。課題としては、廊下を走る児童が見られることです。常に課題として挙がることであり、「なぜ走ってはいけないのか」を自分のこととしてじっくり考えさせ、言い続けていきます。同様に、雨の日の室内での過ごし方も気になります。体育館や多目的教室を開放していますが、室内での上手な楽しみ方も教師から提案していきたいと考えます。登下校の様子について、坂道を走ったり道に広がって歩いたりする姿が危ないと、地域の方から指摘をいただいています。なぜ危険なのか、どのように歩けばよいのかを考えさせていきます。

5. 保護者・地域との協働

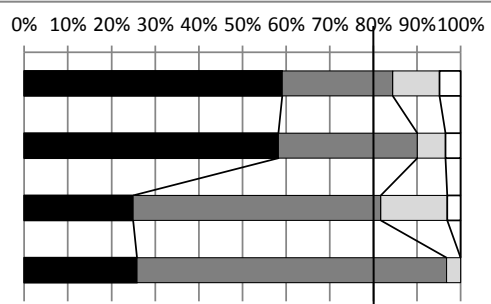
設問⑬	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない				
学校は、保護者や地域のボランティア活動を積極的に受け入れている。	1～3年	109	59%	42	23%	20	11%	15	8%
			81%		-2%		19%		+2%
	4～6年	94	47%	83	41%	18	9%	6	3%
			88%		+1%		12%		-1%
	保護者	180	46%	181	46%	30	8%	2	1%
			92%		-2%		8%		+2%
	教師	15	48%	16	52%	0	0%	0	0%
			100%		+9%		0%		-9%



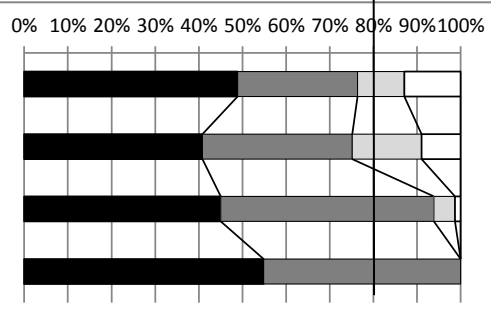
⑬スクールコーディネーターが熱心に活動してくださっています。米作り等の農業体験やミシンボランティア等、学校支援ボランティアの協力のおかげで、充実した教育活動が進められています。また、校内外サポートの方の見回りで、別の視点から普段気づかないような部分の気づきやご指摘をいただいています。教員側も、いつでも様子を見てもらえるような指導・支援をしています。

6. 教育環境

設問⑭	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない				
学校は清掃や整理が行き届き、きれいで安全である。	1～3年	110	59%	47	25%	20	11%	9	5%
			84%		-0%		16%		+0%
	4～6年	117	58%	64	32%	13	6%	7	3%
			90%		+2%		10%		-2%
	保護者	98	25%	223	57%	60	15%	12	3%
			82%		-2%		18%		+2%
	教師	8	26%	22	71%	1	3%	0	0%
			97%		+6%		3%		-6%



設問⑮	対象	あてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない				
学校は、掲示物や展示物が見やすく、学習の様子等分かる。	1～3年	91	49%	51	27%	20	11%	24	13%
			76%		-7%		24%		+7%
	4～6年	82	41%	69	34%	32	16%	18	9%
			75%		-2%		25%		+2%
	保護者	177	45%	192	49%	19	5%	5	1%
			94%		+0%		6%		-0%
	教師	17	55%	14	45%	0	0%	0	0%
			100%		+3%		0%		-3%



⑭子どもの集中を欠くことのないような学習環境を心がけ、常に整理整頓や掃除、掲示物の貼り方などを考えています。また、教員が意識するだけでなく、子どもたちにも学習環境を整える意識を芽生えさせていかなければならないと感じています。

⑮どの教室も、国語、算数を中心にして、学習の軌跡を残すよう掲示物を工夫しています。既習事項が次の課題解決の土台となるような掲示を意識しています。廊下やホールには、お互いに見合えるように、子どもの作品を掲示・展示しています。立体作品の展示については、鑑賞のマナーについても指導しています。